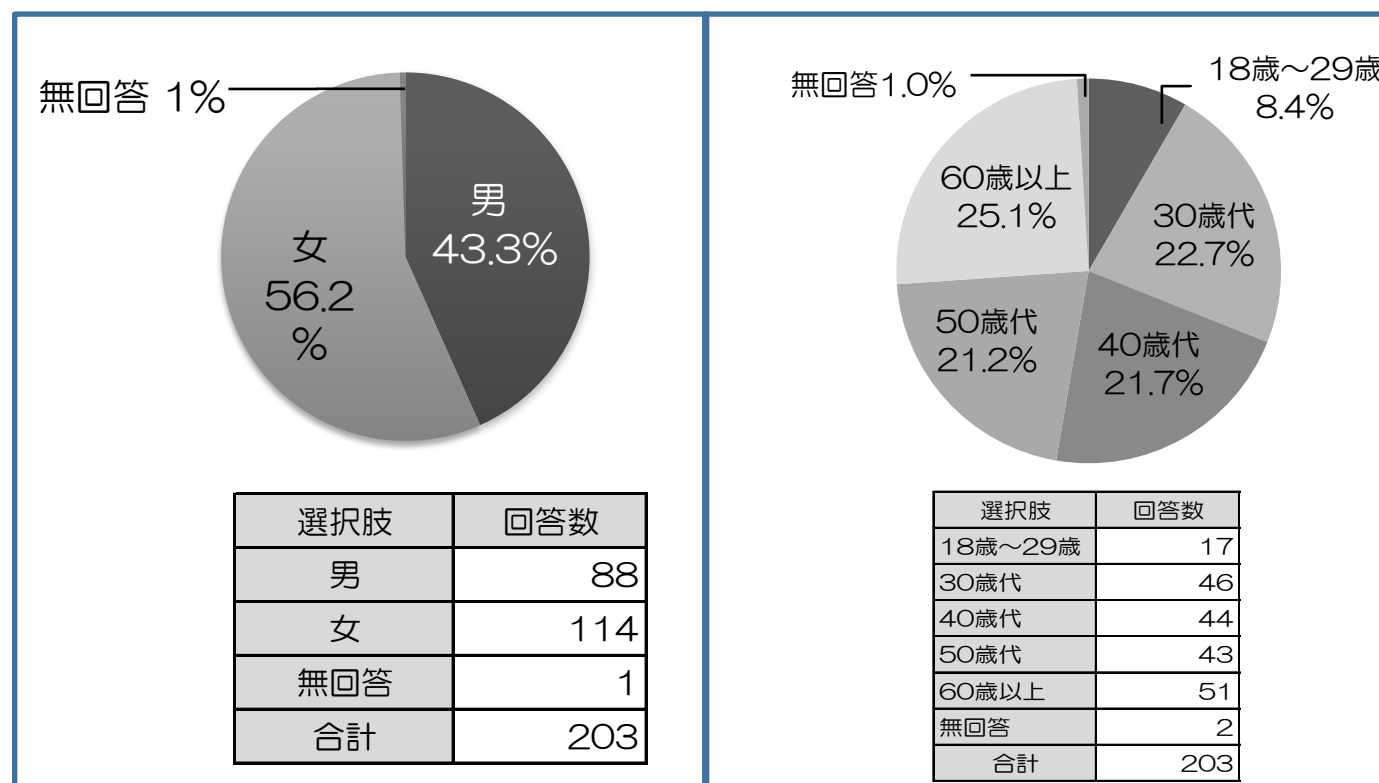


令和元年度第2回「まちかどコメンテーター」アンケート調査結果 概要

〈回答者の構成〉



〈結果概要〉

1. 桜島・錦江湾ジオパークについて

- 「ジオパーク」という言葉を知っている人や見聞きしたことがある人は91.6%と多いが、桜島・錦江湾がジオパークに認定されていることを知っている人は58.6%にとどまり、広報周知に課題がある。
- 桜島・錦江湾ジオパークについて知ったきっかけは、パンフレットやテレビ・ラジオが多い
- 桜島・錦江湾ジオパークについて72.4%の人が興味を持っているが、「桜島・錦江湾ジオパーク」に関連するイベント等には、ほとんどの人が参加したことがない。ただし、機会があれば参加したいと考える人が69.5%と、潜在的に活動に参加したい人がおり、参加につなげられる取組が必要である。
- ジオパークのイベントで参加してみたいものとして、足湯・温泉や自然景観観光が人気である。

2. 自殺対策について

- 鹿児島市では、毎年約100人前後が自殺で亡くなっているという現状がほとんど知られていない。
- 市の自殺対策の、ゲートキーパーの養成や、生活とこころの無料悩み相談会&ミニレクチャーの実施、鹿児島市無料相談窓口カード配布の認知度は低く、過半数以上の人が知らない。
- 鹿児島市無料相談窓口カードを置く場所として有効なのは、行政や医療機関、コンビニエンスストアである。
- 10～20代の若年層への自殺対策への関心が高く、そのための取り組みとして、児童・生徒に対するSOSの出し方教育、自殺相談ダイヤルによる電話相談、ゲートキーパーの養成が効果的であると考えらる。

令和元年度第2回「まちかどコメンテーター」アンケート調査結果

まちかどコメンテーターの概要

(1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、その方々から市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めることも目的としています。

(2) まちかどコメンテーターの選定方法

住民基本台帳から無作為抽出した市民2,600人にまちかどコメンテーターへの就任を依頼し承諾いただいた方と、一般公募に応募していただいた方から構成されています。

(3) 任期

令和元年7月1日～令和3年6月30日

(4) 人数

245人（男性106人、女性139人）

(5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

今回のアンケートの概要

テーマ (担当課)	桜島・錦江湾ジオパークについて	(観光交流局 世界遺産・ジオパーク推進課)
	自殺対策について	(健康福祉局 保健予防課)
調査期間	令和元年11月7日～11月28日	
送付数	245人	
回答率	82.9% (203人)	

(注) 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

(注) 無効な回答は回答数から除外しています。

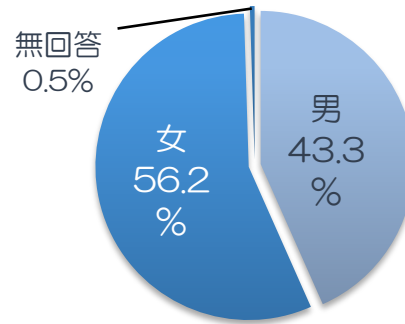
(注) 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。

(注) 自由記入の回答は、主な意見のみを記載しています。全文は市ホームページで公開しています。

回答者の構成

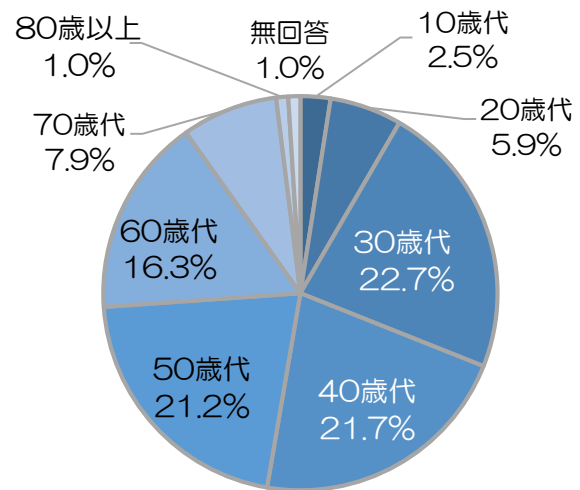
問1. 性別を選択してください。

選択肢	回答数	構成比
男	88	43.3%
女	114	56.2%
無回答	1	0.5%
合計	203	100.0%



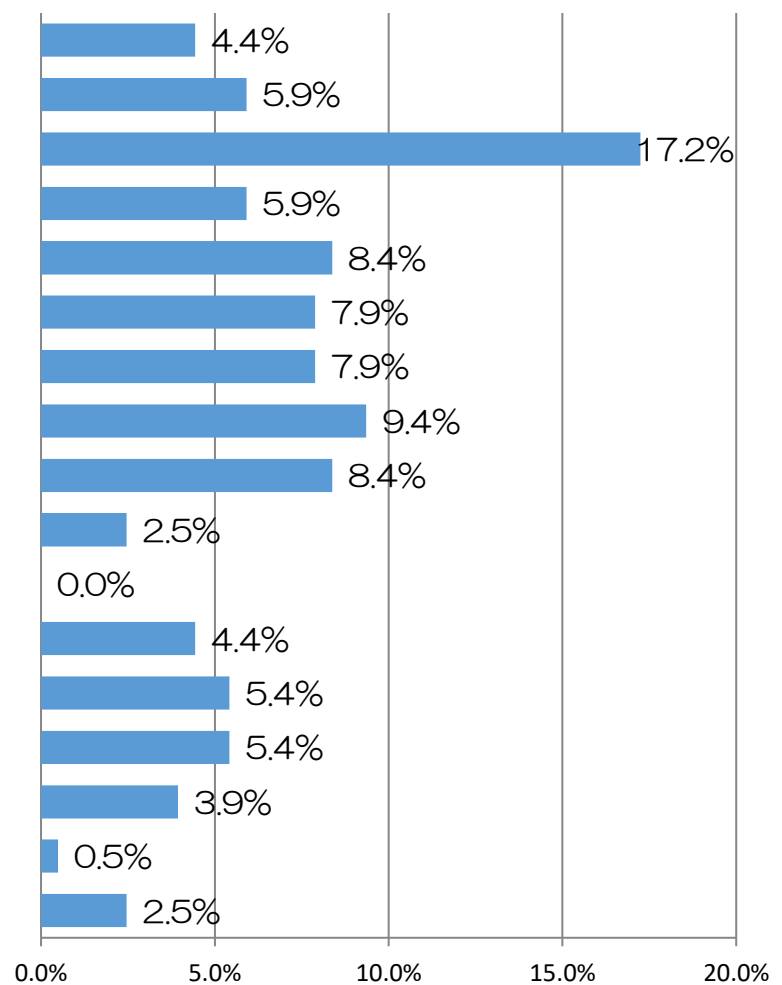
問2. 年代を選択してください。

選択肢	回答数	構成比
10歳代	5	2.5%
20歳代	12	5.9%
30歳代	46	22.7%
40歳代	44	21.7%
50歳代	43	21.2%
60歳代	33	16.3%
70歳代	16	7.9%
80歳以上	2	1.0%
無回答	2	1.0%
合計	203	100.0%



問3. 町名を記入してください。※ご記入いただいた町名を元に集計しています。

地域	回答数	構成比
中央地区	9	4.4%
上町地区	12	5.9%
鴨池地区	35	17.2%
城西地区	12	5.9%
武・田上地区	17	8.4%
谷山北部地区	16	7.9%
谷山地区	16	7.9%
伊敷地域	19	9.4%
吉野地域	17	8.4%
桜島地域	5	2.5%
東桜島地域	0	0.0%
吉田地域	9	4.4%
喜入地域	11	5.4%
松元地域	11	5.4%
郡山地域	8	3.9%
市外	1	0.5%
不明	5	2.5%
合計	203	100.0%



桜島・錦江湾ジオパークについて

【アンケートの目的】

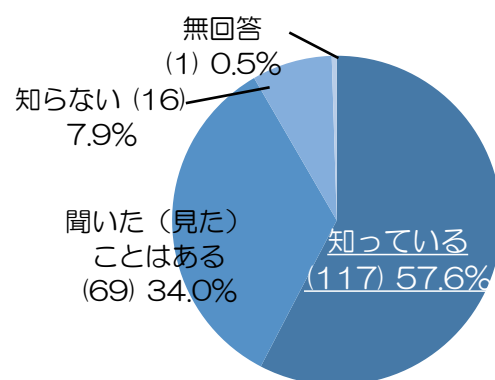
「ジオ」とは、地球や大地という意味、「ジオパーク」とは、ツアーや体験プログラムを通して、地球や大地の素晴らしさを体験できる公園（場所）のことであり、貴重な自然資源を保全・保護しながら、観光や地域振興、防災、教育など様々な活動を展開しています。桜島・錦江湾地域は、平成25年に日本ジオパークに認定されました。

本市では、この「桜島・錦江湾ジオパーク」の推進に取り組んでいますが、市民の皆さんのジオパークの認知度などを把握し、今後の事業推進の参考とするために、アンケートを実施しました。

【調査結果】

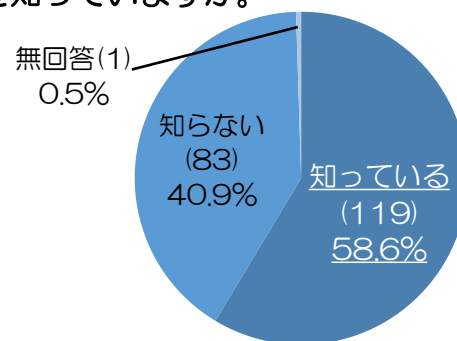
問4：「ジオパーク」という言葉を知っていますか。

選択肢	回答数	構成比
知っている	117	57.6%
聞いた（見た）ことはある	69	34.0%
知らない	16	7.9%
無回答	1	0.5%
合計	203	100.0%



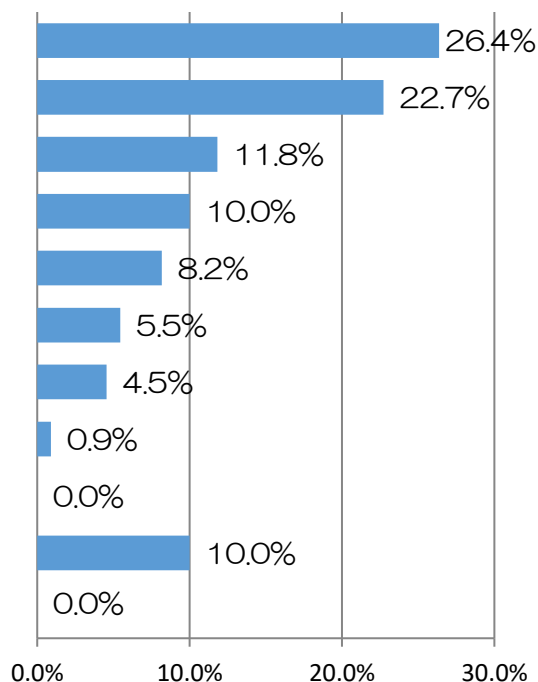
問5：桜島・錦江湾地域が日本ジオパークに認定されていることを知っていますか。

選択肢	回答数	構成比
知っている	119	58.6%
知らない	83	40.9%
無回答	1	0.5%
合計	203	100.0%



問6：問5で「知っている」を選んだ方にお尋ねします。
「桜島・錦江湾ジオパーク」について知ったきっかけは何ですか。

選択肢	回答数	構成比
パンフレット（ガイドマップ等）	29	26.4%
テレビ・ラジオ	25	22.7%
のぼりや横断幕	13	11.8%
看板や説明板	11	10.0%
市民のひろば	9	8.2%
ガイドツアー、イベント、講演、その他催し等	6	5.5%
新聞	5	4.5%
SNS	1	0.9%
ホームページ	0	0.0%
その他	11	10.0%
無回答	0	0.0%
合計	110	100.0%



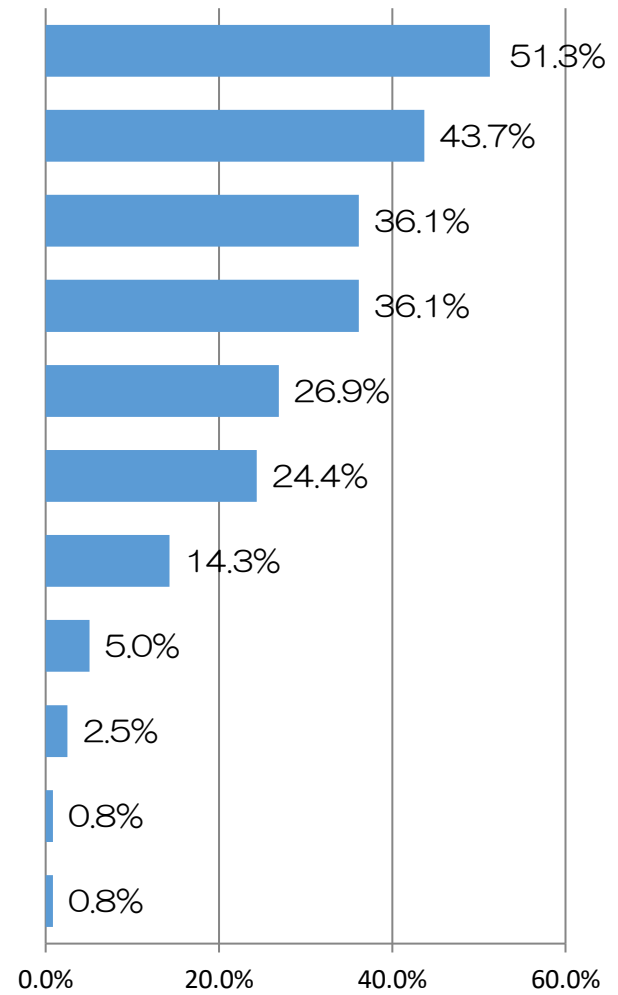
無効回答 9件

問6 その他の主な意見

- ・WAONカード
- ・いろんなところで目にします。特定できません。

問7：問5で「知っている」を選んだ方にお尋ねします。「桜島・錦江湾ジオパーク」についてどんなことを知っていますか。（複数回答可、N=119）

選択肢	回答数	構成比
ガイドツアー、イベント、講座、その他の催し等が行われていること	61	51.3%
「火山と人と自然のつながり」というテーマやストーリーがあること	52	43.7%
世界ジオパークの認定を目指していること	43	36.1%
ロゴマーク	43	36.1%
桜島・錦江湾ジオパークイベント「灰フェス！」	32	26.9%
鹿児島市全域・始良市・垂水市へのエリア拡大に向けた取組の推進	29	24.4%
桜島・錦江湾ジオパークWAON	17	14.3%
見て・感じて・確かめよう！「大地のつくりと変化」	6	5.0%
防災カードゲーム「詮議（せんぎ）」	3	2.5%
その他	1	0.8%
無回答	1	0.8%
合計	288	

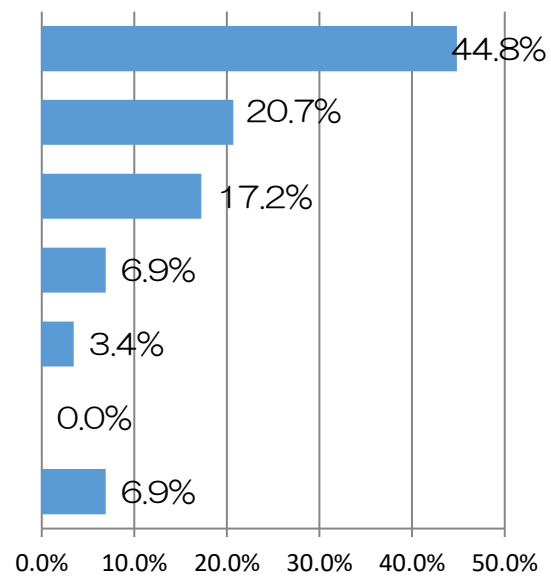


問7その他の意見

- ・特に詳細は知らない

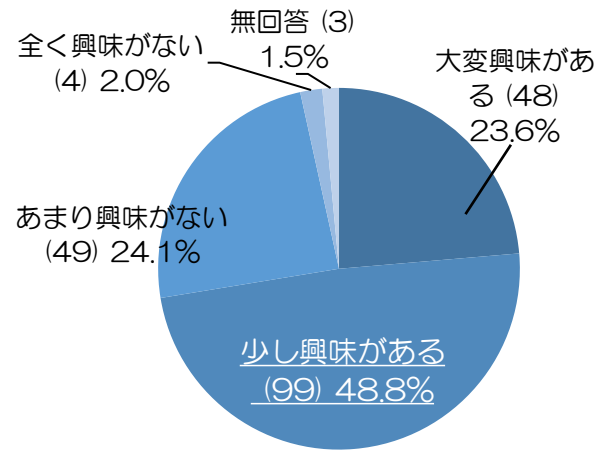
問8：問7で「鹿児島市全域・始良市・垂水市へのエリア拡大に向けた取組を推進していること」を選んだ方にお尋ねします。「エリア拡大に向けた取組」について知ったきっかけは何ですか。

選択肢	回答数	構成比
テレビ・ラジオ	13	44.8%
新聞	6	20.7%
ガイドツアー、イベント、講演、その他催し等	5	17.2%
SNS	2	6.9%
ホームページ	1	3.4%
その他	0	0.0%
無回答	2	6.9%
合計	29	100.0%



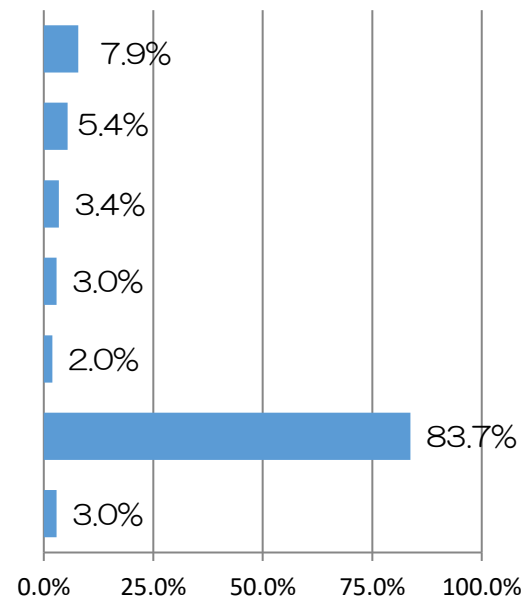
問9：「桜島・錦江湾ジオパーク」に興味はありますか。

選択肢	回答数	構成比
大変興味がある	48	23.6%
少し興味がある	99	48.8%
あまり興味がない	49	24.1%
全く興味がない	4	2.0%
無回答	3	1.5%
合計	203	100.0%



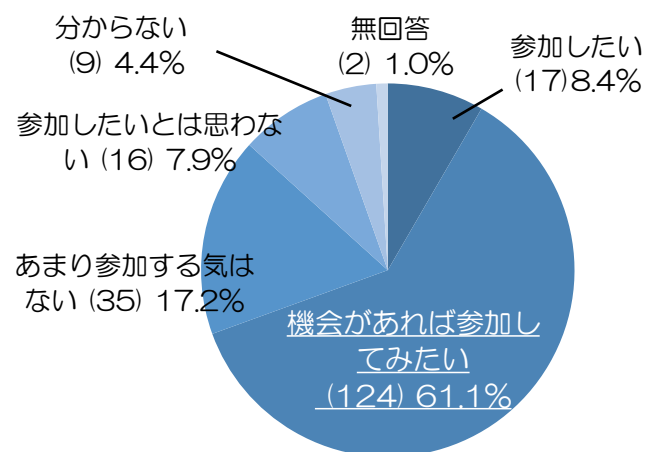
問10：「桜島・錦江湾ジオパーク」に関連するイベント、ガイドツアー、講座、セミナーなどの「ジオパーク活動」に参加したことがありますか。（複数回答可、N=203）

選択肢	回答数	構成比
ガイドツアー（ジオツアー）	16	7.9%
ジオ講座	11	5.4%
「灰フェス！」などのイベント	7	3.4%
ジオキッズ講座	6	3.0%
その他（ジオカフェ、ワーキンググループなど）	4	2.0%
参加したことがない	170	83.7%
無回答	6	3.0%
合計	220	



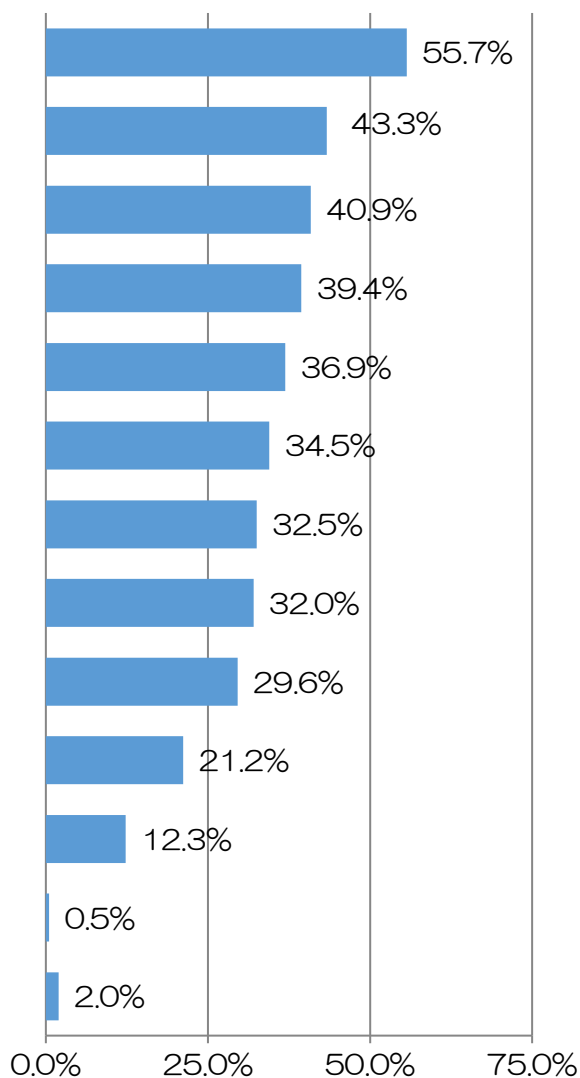
問11：「桜島・錦江湾ジオパーク」に関連するイベント、ガイドツアー、講座、セミナーなどの「ジオパーク活動」に参加したいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
参加したい	17	8.4%
機会があれば参加してみたい	124	61.1%
あまり参加する気はない	35	17.2%
参加したいとは思わない	16	7.9%
分からない	9	4.4%
無回答	2	1.0%
合計	203	



問12：「桜島・錦江湾ジオパーク」で体験したい、楽しみたいことは何ですか。（複数回答可）
(N=203)

選択肢	回答数	構成比
温泉・足湯	113	55.7%
溶岩・地形・地質・景観・景勝地などの自然景観観光	88	43.3%
史跡・歴史遺産・埋蔵文化財めぐり	83	40.9%
食・郷土料理	80	39.4%
フェリー、クルーズ観光	75	36.9%
体験プログラム（溶岩でピザ窯&ピザ作り、陶芸体験、収穫体験など）	70	34.5%
海に関する活動（釣り、カヤック、シュノーケリング体験など）	66	32.5%
ガイドツアーへの参加（火山ガイドウォーク、温泉掘りツアーなど）	65	32.0%
噴火などの火山活動の体感	60	29.6%
防災施設見学（砂防センターや砂防ダムなど）	43	21.2%
地域の人との交流	25	12.3%
その他	1	0.5%
無回答	4	2.0%
合計	773	



問12 その他の意見

- ・写真撮影ツアー

問13：「桜島・錦江湾ジオパーク」について、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。

- 日常生活の中でジオパークについての情報を知る機会がなかなか無い。
- ジオパークのネーミングがまだ浸透していない。カタカナだとはじめて聞いたとき何なのかわかりにくかった。
- 様々な取り組みがあるようなので是非参加したいが、知名度がいまひとつなのではと思っておりました。
- 認定されたら具体的に何がどうなるのかを知りたい。
- 桜島のセンターで見た映画が楽しかった。また、科学館のワイドムービーも見ごたえがあった。
- 「桜島・錦江湾ジオパーク」サポーターの講座を実施して、今後の活動普及に努める方策をお願いしたい。
- 「桜島・錦江湾ジオパーク」に何かキャッチコピーをつけて子どもから老人までわかりやすく、興味をひきつけてほしい
- 鹿児島県、宮崎県、霧島連山が連なる地形。各々が観光に力を入れていらっしゃるすばらしいガイドブックも手に取ることがあります。しかし、50代にしてはじめて、宮崎側の神社を巡りました。これまで霧島神宮しか知らずにいたので、六社権言を知りびっくりしました。相互に行き来できるエリアについてもっと可能性を広げるべきだと思いました。同様に桜島へ陸路コースも整備されているので、空港～福山～桜島をとおりフェリーから市内への観光客を導くコースもセールスしたらよいのではないのでしょうか。空港から高速道路から市内へ入ると景色も違うと思います。
- そもそもジオパークについての周知・説明が足りないように思う。
- ジオパークのパンフレットに初めて目を通しました。写真も沢山あり、カラーで見やすく、良いパンフレットなので、鹿児島市内でももっと手にとりやすい場所に置いてあっても良いのでは？と率直に感じました。私のように「知らないor見る機会がない」人も多くいるように感じます。目を通して、行きたい場所が増えました。
- ことばで聞いたことはあっても、実際の活動はほとんど知らなかった。灰フェスも、たまたま通りかかったイベントでした。桜島のことや錦江湾のことは、住んでいる以上ある程度は知っておきたいけれど、もう少し身近に学べるといいのに、とは思う。テレビの5分番組みたいな。まめ知識みたいな。YOUTUBEとか。

テーマ担当課（世界遺産・ジオパーク推進課）からのコメント

ジオパークという言葉について、「知っている」、「聞いた（見た）ことはある」という方が、91.6%おられ、鹿児島市でのジオパークの認知度は高いと思われる一方、桜島・錦江湾ジオパークについて「知っている」と回答された方は58.6%であることから、広報周知に課題があることが分かりました。

桜島・錦江湾ジオパークを知ったきっかけとしては、「パンフレット」や「テレビ・ラジオ」の割合が高い一方で、「ホームページ」や「SNS（フェイスブックやツイッター等）」の割合が低く、定期的な情報発信を行っていても、活用が十分になされていないことが分かりました。

また、ジオパーク活動について「参加したことがない」と回答された方が83.7%おられましたが、活動に「参加してみたい」と回答された方は69.5%であったことから、潜在的に活動に参加したい方がおられ、活動について、効果的な情報発信を行う必要があることが分かりました。

今回の調査結果を活用して、さらに市民の皆さまをはじめ、国内外の多くの方に世界に誇れる桜島・錦江湾のジオの魅力を発信してまいります。

自殺対策について

【アンケートの目的】

本市では、平成29年度に「鹿児島市自殺対策計画～誰も自殺に追い込まれることのないいのち支える鹿児島市をめざして～」を策定しました。

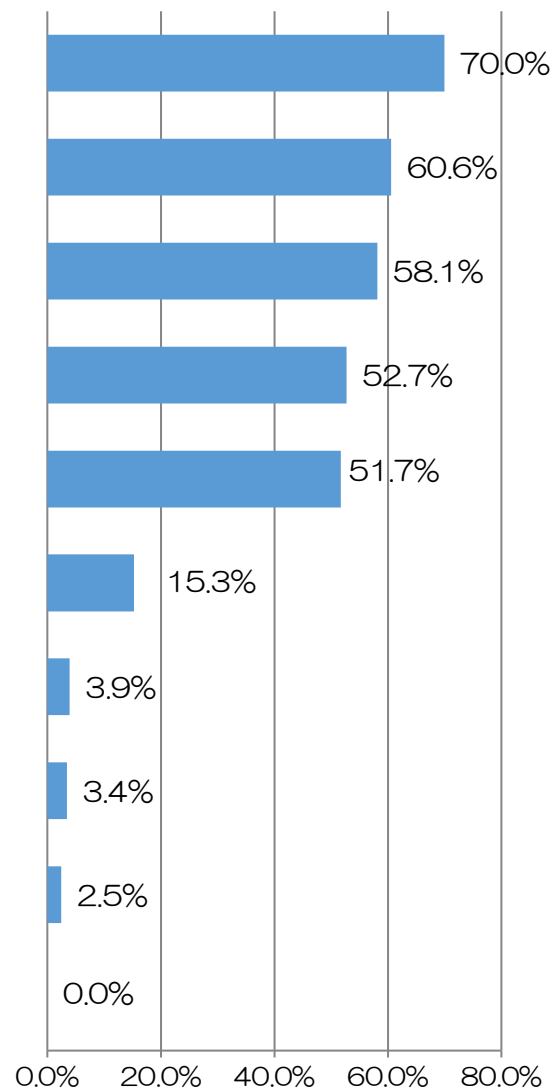
この計画では、市民が健康で生きがいを持って、地域で安心して暮らすことのできる「いのち支える鹿児島市」を目指し、本市のこれまでの自殺対策の取組をより広く展開し、総合的に推進することとしています。

市民の皆さんの関心度や、認知度などを把握し、今後の効果的な事業推進の参考とするため、今回2つの項目についてアンケートを実施しました。

【調査結果】

問14：自殺について知っていることは何ですか。（複数回答可、N=203）

選択肢	回答数	構成比
うつ病のサインに気づいたとき、医療機関へ相談することは大切である	142	70.0%
自殺は防ぐことができる	123	60.6%
自殺の危険性がある人に、相談先など、支援に関する情報を提供することは大切である	118	58.1%
自殺は追い込まれた末の死である	107	52.7%
悩んでいる人はサインを発していることが多い	105	51.7%
自殺のサインや悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことを「ゲートキーパー」という	31	15.3%
鹿児島市では、毎年約100人前後が自殺で亡くなっている	8	3.9%
知っていることはない	7	3.4%
その他	5	2.5%
無回答	0	0.0%
合計	646	

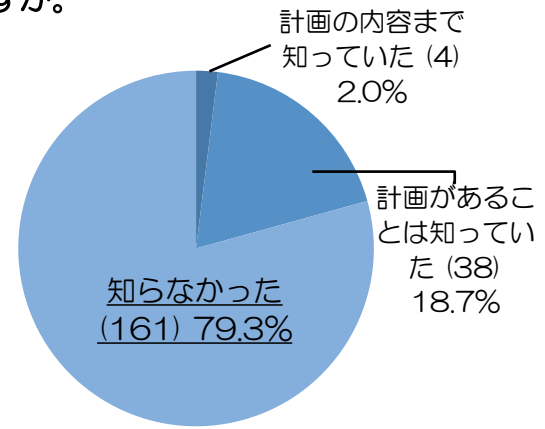


問14その他の意見

- ・子ども（学生）は夏休み明け9月に自殺が多い。

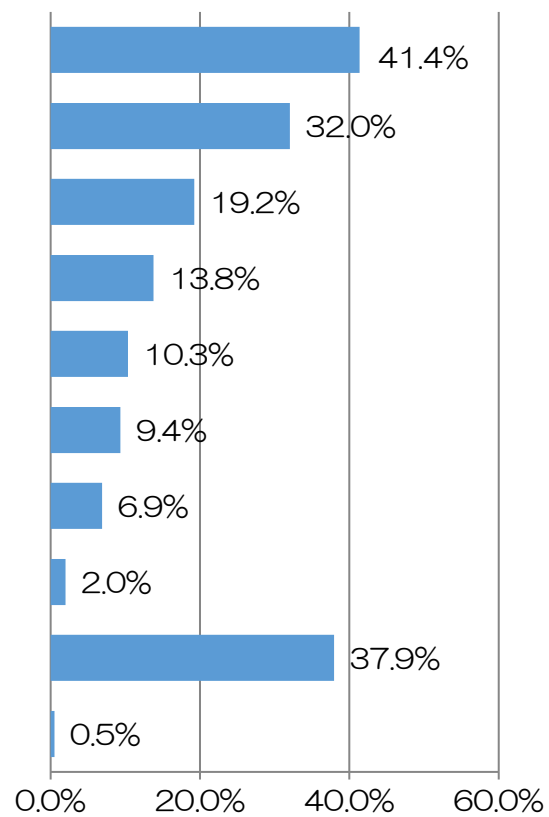
問15：鹿児島市が自殺対策計画を策定していることをご存知ですか。

選択肢	回答数	構成比
計画の内容まで知っていた	4	2.0%
計画があることは知っていた	38	18.7%
知らなかった	161	79.3%
無回答	0	0.0%
合計	203	100.0%



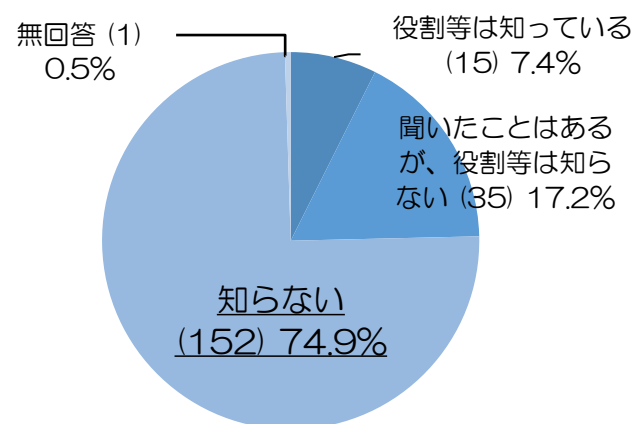
問16：鹿児島市の自殺対策事業の取組について知っているものを全てお選びください。
(複数回答可、N=203)

選択肢	回答数	構成比
鹿児島市保健所での電話相談・面談相談	84	41.4%
鹿児島市無料相談窓口カードの設置	65	32.0%
リーフレット・パンフレットの作成配布	39	19.2%
生活とところの無料悩み相談会&ミニレクチャー	28	13.8%
自殺対策強化月間(3月)の市電広告	21	10.3%
自殺関連の研修会・講演会	19	9.4%
ゲートキーパー養成講座	14	6.9%
大学の学園祭での普及啓発	4	2.0%
知っているものはない	77	37.9%
無回答	1	0.5%
合計	352	



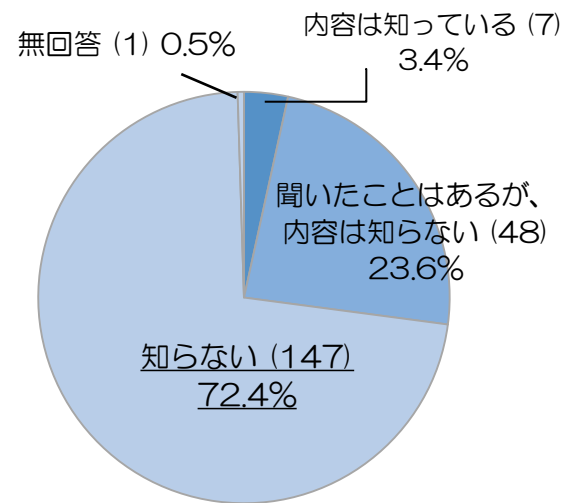
問17：ゲートキーパーを知っていますか。

選択肢	回答数	構成比
役割等まで知っていて、ゲートキーパー養成講座を受講したことがある	0	0.0%
役割等は知っている	15	7.4%
聞いたことはあるが、役割等は知らない	35	17.2%
知らない	152	74.9%
無回答	1	0.5%
合計	203	100.0%



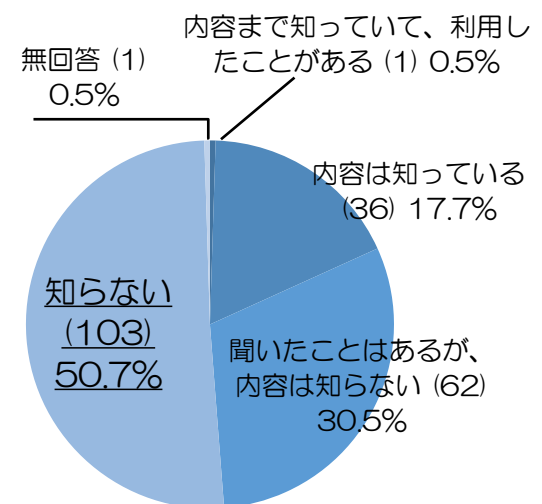
問18：生活とこころの無料悩み相談会&ミニレクチャーを知っていますか。

選択肢	回答数	構成比
内容まで知っていて、利用したことがある	0	0.0%
内容は知っている	7	3.4%
聞いたことはあるが、内容は知らない	48	23.6%
知らない	147	72.4%
無回答	1	0.5%
合計	203	100.0%

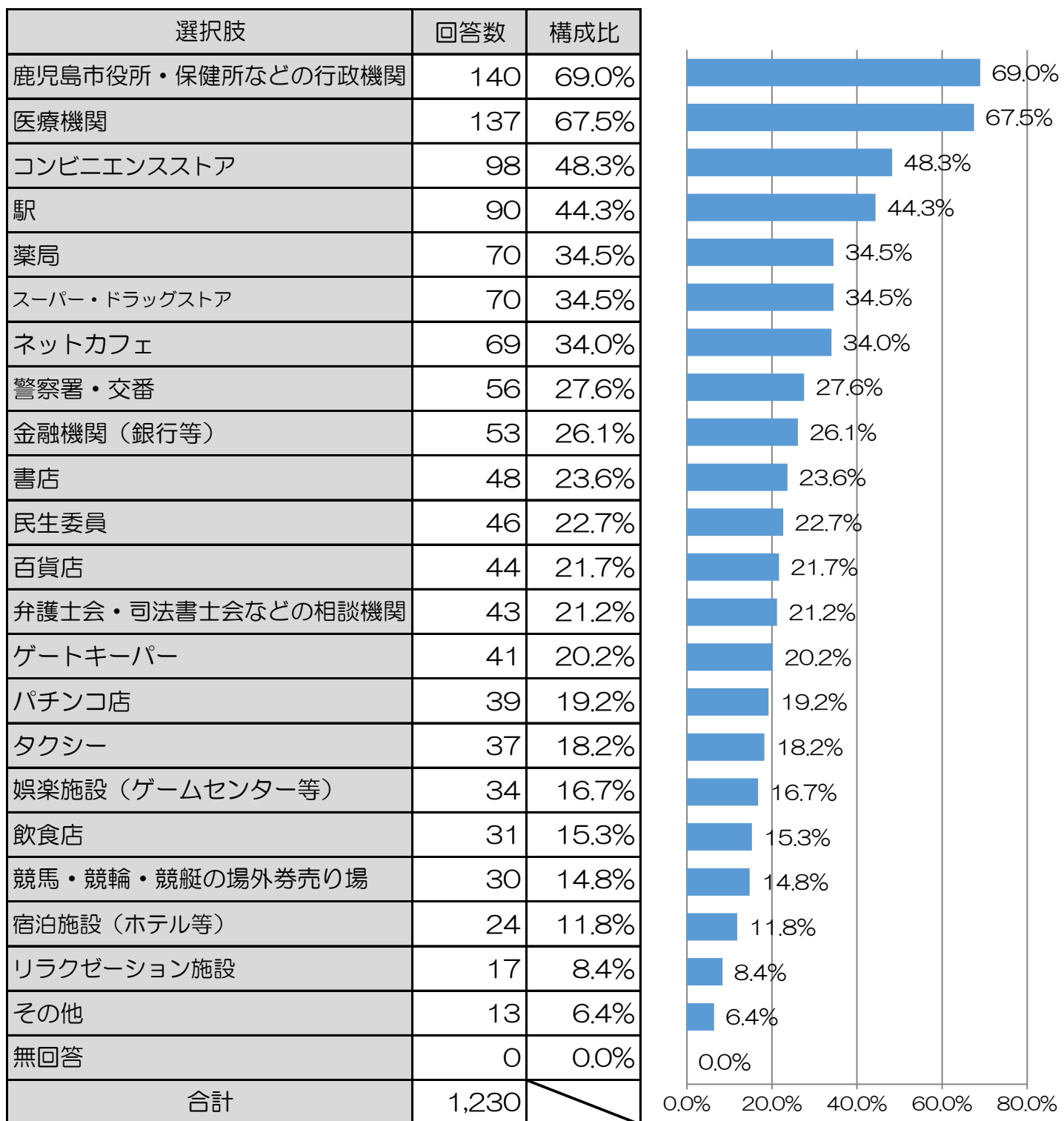


問19：鹿児島市無料相談窓口カードを知っていますか。

選択肢	回答数	構成比
内容まで知っていて、利用したことがある	1	0.5%
内容は知っている	36	17.7%
聞いたことはあるが、内容は知らない	62	30.5%
知らない	103	50.7%
無回答	1	0.5%
合計	203	100.0%



問20：鹿児島市無料相談窓口カードを置く場所（持っている人）として有効なところ（人）はどこだと思いますか。（複数回答可、N=203）

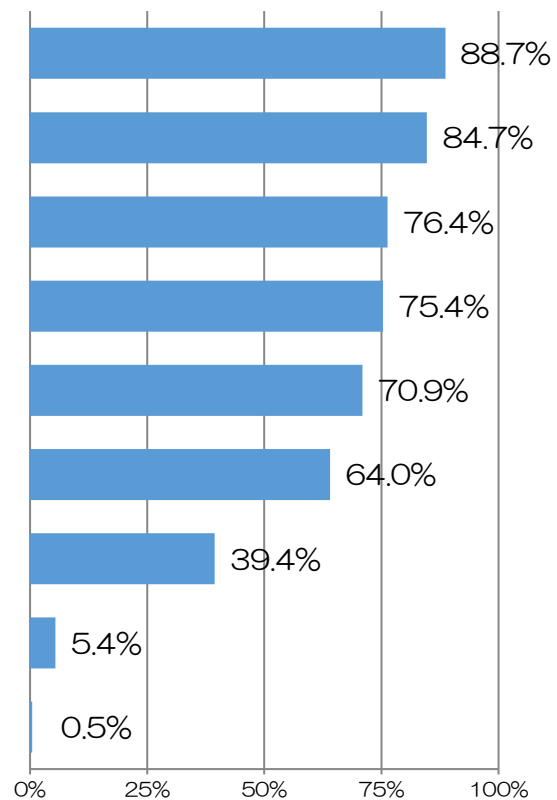


問20 その他の主な意見

- ・生活に困窮してそうな人や家に居場所が無い人が利用しそうなトイレ
- ・職場
- ・バス、電車のドライバー
- ・誰もがふらりと立ち寄れる場所（横断歩道、信号機やバス停など）
- ・自殺者の年齢割合による子供が多いなら小学校・中学校とか、ネットの広告（カードじゃなく）

問21：自殺の原因は何だと思えますか。（複数回答可、N=203）

選択肢	回答数	構成比
経済・生活の問題（倒産、事業不振、負債、失業、生活困窮等）	180	88.7%
学校の問題（いじめ、学業不振、教師との人間関係等）	172	84.7%
労働の問題（倒産、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働等）	155	76.4%
家族の問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病等）	153	75.4%
健康の問題（自分の病気の悩み、身体の悩み等）	144	70.9%
孤独感・近隣関係（独居・同居・近所づきあいの悩み等）	130	64.0%
男女問題（失恋、結婚をめぐる悩み等）	80	39.4%
その他	11	5.4%
無回答	1	0.5%
合計	1,026	

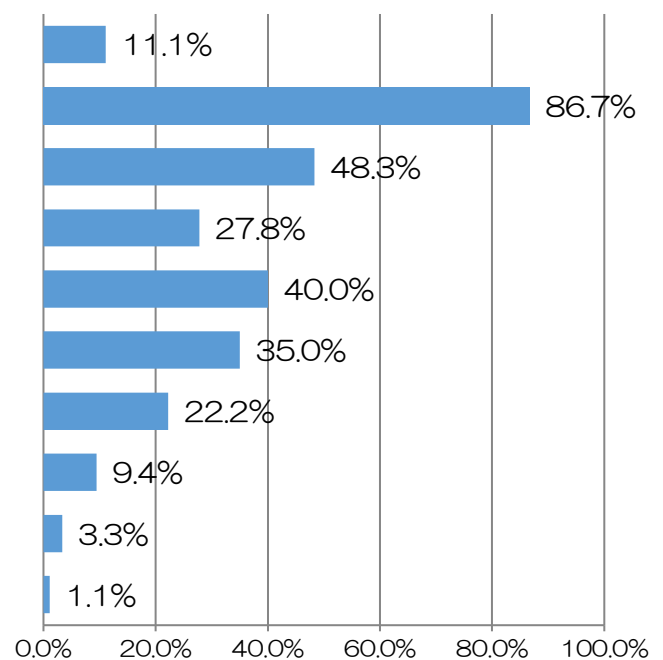


問21 その他の主な意見

- ・自殺防止教育の不足
- ・身近な人の死
- ・ゲーム、SNSでのトラブル等ネット関係

問22：自殺対策を推進したほうがよいと思う年代はどれだと思えますか。（あてはまるもの上位3つ、N=180）

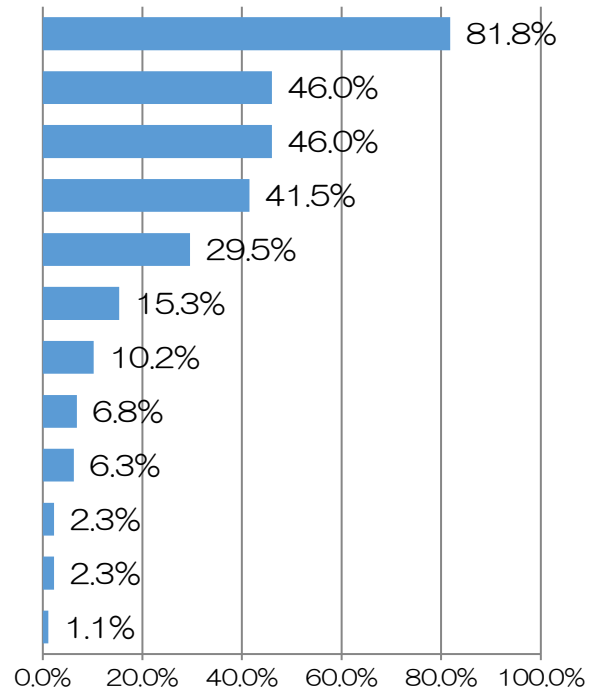
選択肢	回答数	構成比
10歳未満	20	11.1%
10歳代	156	86.7%
20歳代	87	48.3%
30歳代	50	27.8%
40歳代	72	40.0%
50歳代	63	35.0%
60歳代	40	22.2%
70歳代	17	9.4%
80歳以上	6	3.3%
無回答	2	1.1%
合計	513	



無効回答 23件

問23：自殺対策を推進したほうがよいと思う対象はどれだと考えますか。
(あてはまるもの上位3つ、N=176)

選択肢	回答数	構成比
小・中・高校生	144	81.8%
休職中の人・無職の人	81	46.0%
病気や障害を抱えている人	81	46.0%
企業等で働く人	73	41.5%
独居の人	52	29.5%
自営業者	27	15.3%
大学生	18	10.2%
妊産婦	12	6.8%
一人親	11	6.3%
主婦・主夫	4	2.3%
その他	4	2.3%
無回答	2	1.1%
合計	509	



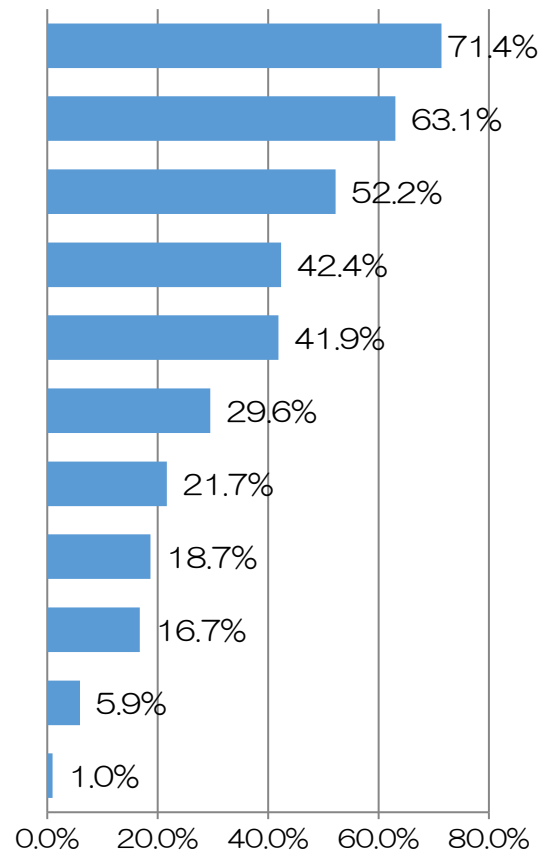
無効回答 27件

問23その他の意見

- ・老老介護者

問24：自殺対策の取組として効果的だと思うものは何ですか。(複数回答可、N=203)

選択肢	回答数	構成比
児童・生徒に対するSOSの出し方教育	145	71.4%
自殺相談ダイヤルによる電話相談	128	63.1%
自殺のサインに気づき、適切な対応を取れる人(ゲートキーパー)の養成	106	52.2%
鹿児島市無料相談窓口カードの設置	86	42.4%
SNS(Twitter、Facebook等)を活用した自殺防止啓発の取組	85	41.9%
分かち合いの会(大切な人を自殺で亡くした方のつどい)の開催	60	29.6%
ポスター等による自殺防止啓発(相談窓口紹介を含む)の取組	44	21.7%
研修会・講演会による自殺防止啓発の取組	38	18.7%
街頭における自殺防止啓発の取組	34	16.7%
その他	12	5.9%
無回答	2	1.0%
合計	740	

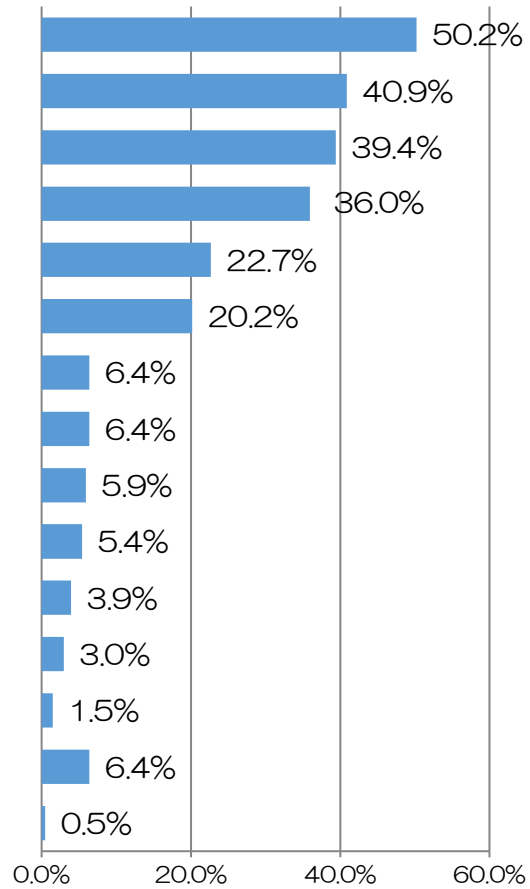


問24その他の主な意見

- ・小中学校のいじめが原因の自殺については教師側の考え方や評価制度を早急に改善する必要がある。
- ・相談窓口があるという事を常識的に知っている環境を作るような広報・普及活動が必要かと思います。
- ・ポスターは外出しない人は気づかなくて、SNSはだれでもできないので、テレビやラジオで繰り返し流してほしいと思います。

問25：仮にあなたが自殺に関して相談するとしたらどこ（どの人）が良いと思いますか。
（複数回答可、N=203）

選択肢	回答数	構成比
医療機関（精神科や心療内科など）	102	50.2%
友人・知人	83	40.9%
家族や親族	80	39.4%
市役所・保健所・いのちの電話等の相談機関	73	36.0%
ゲートキーパー	46	22.7%
SNSによる相談窓口	41	20.2%
子育て世代包括支援センター（保健センター）	13	6.4%
長寿あんしん相談センター	13	6.4%
医療機関（内科や整形外科など）	12	5.9%
警察	11	5.4%
職場	8	3.9%
学校	6	3.0%
近所の人	3	1.5%
その他	13	6.4%
無回答	1	0.5%
合計	505	

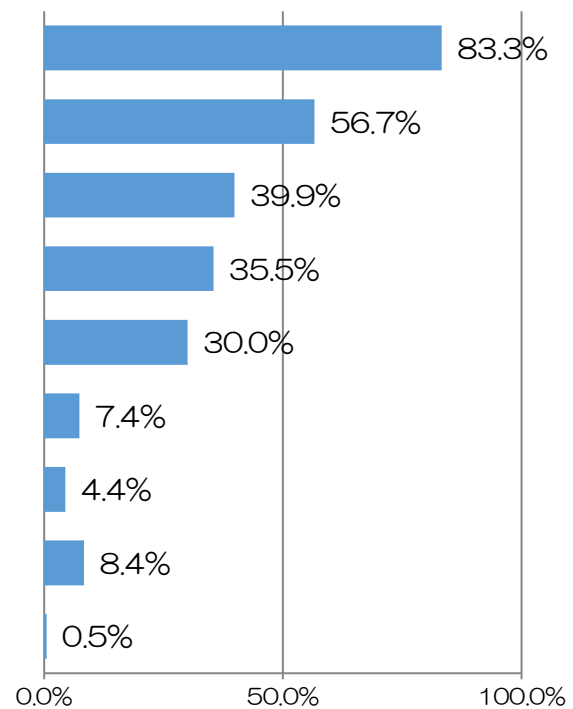


問25 その他の主な意見

- ・自殺する人は相談しない。

問26：鹿児島市では、自殺を考えたときに相談しない人が多いという結果が出ています。相談をしない理由は何だと思えますか。（複数回答可、N=203）

選択肢	回答数	構成比
相談してもどうにもならないと思ったから	169	83.3%
悩んでいることを知られるのが恥ずかしかったから	115	56.7%
相談したくなかったから	81	39.9%
相談するという選択肢を思いつかなかったから	72	35.5%
相談先を知らなかったから	61	30.0%
相談するほどのことではないと思ったから	15	7.4%
相談する時間がなかったから	9	4.4%
その他	17	8.4%
無回答	1	0.5%
合計	540	

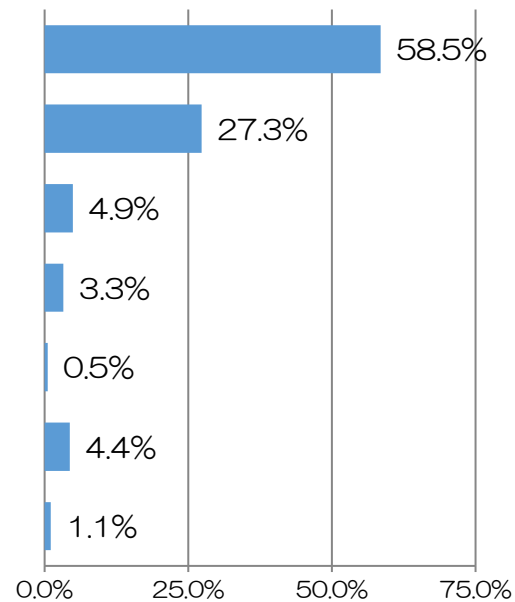


問26 その他の主な意見

- ・他者に負担や迷惑をかけたくないから。
- ・閉鎖的地域性
- ・相談しても本人の努力不足とか責められるから。
- ・公務員には相談しにくいムードがある。組織的なパターンの対応。解決につながらない。事務的で不親切なイメージ。

問27: 仮にあなたの周りの人に自殺の予兆（サイン）を感じたとき、どのような行動をとると考えますか。

選択肢	回答数	構成比
ひたすら耳を傾けて話を聞く	107	58.5%
精神科や法律の相談窓口など専門機関への相談を勧める	50	27.3%
励ましの言葉をかける	9	4.9%
言葉をかけたいが、ためらいを感じて何もしない	6	3.3%
特に何もしない	1	0.5%
その他	8	4.4%
無回答	2	1.1%
合計	183	100.0%



無効回答 20件

問27 その他の主な意見

- ・ 接し方が分からない
- ・ 話を聞きたいが、ガス抜きになれない場合に止められなかった負い目が残りそうなので不安が先立つ。
- ・ 本人の周りの人（家族など）に助言をして気にかけてもらっておく。

問28：鹿児島市の自殺対策についてあなたの意見をお聞かせください。

- ・ 自殺を考える方は周りには知られないように過ごしていると思うので、身近な人の気付きがなによりも大切だと思います。そのために気づいた人が相談できるしくみが必要なのでは？
- ・ 自殺相談カードに西郷隆盛や桜島はそぐわない。固定観念が強い鹿児島に生きづらさを感じる人もいるのでは。鹿児島と関係ないデザインがよいと思う。
- ・ 精神科となると、受診をためらう方もいると思うので、心療内科等で気軽に（風邪の症状と同じように）受診できることを伝えられたら、受診しやすいのではないかと思います。
- ・ 顔が見えない相談窓口は無機質な感じを感じる。どんな、人が相談に乗ってくれるのか、テレビやラジオなどのメディアを介して露出させたり、SNSで実名で相談にのったりすると温かみのある施策になると思う。
- ・ 自殺をしてしまう時は発作的に突然してしまうと思うので、その前に救い上げる事が重要だと思うが、誰に相談していいのかと言うのが分からないと思うので、相談窓口を一本化してそこから細分化して専門家に繋がればいいと思う。
藁にもすがる気持ちで相談したのに、たらい回しにされたら絶望しかない。
- ・ 行政側よりの告知、相談は正直あまり効果はないかと思う。
どちらかというところ、地域、学校や企業側など身近なところにゲートキーパーなどを充実させた方が効果的に思う。
- ・ 毎年100人前後とかの実態を全く知らなかったなので、対策についての意見の前に、実態を知ることから始めないと何も言えないと思いました。
- ・ 子供が学校から配布されたパンフレットを良く読まずに廃棄する。どこか他人事のような感じです。対策に対し実績の公表はないのでしょうか？

- 人間関係がうまくいかないとか色々あるとは思いますが、ほとんどは経済的に余裕がある生活が出来れば 解決出来そうな気がします。
人間関係がうまくいかなくて仕事を辞めると生活費が、他にも病気療養費、介護費、ご近所トラブルで引越したくても引越し費用が必要だったり綺麗事を言ってもお金の問題は大きいと思います。
市民の所得が上がるような行政の事業者への強力なサポート体制も今後はもっと必要かと思います。
- これは、小中高で配布しているいじめやDVのカードとは別なのでしょうか？
ほとんどの相談先が平日の昼間だけしか利用できないので利用しにくい。
通話料のかからないLINE通話など利用できるようにしたらよいのではないかと思います。
- 自殺する人の多くは、うつ状態になっているのではないかと思います。がん検診などと同じように、うつ病の早期発見のため、自殺が多い年代の方を中心に心の健康診断を保健センター等で受けてもらうようにしてはどうか。
- 私はゲートキーパーの制度を初めて知った。と言うほど、世間には大して浸透していないと思う。そして、悩んでいる人に気づき、話を聞き、必要な支援をして見守るとあるが無理があると思う。何人の自殺を考えた人がゲートキーパーの支援により思いとどまったのかデータとして出してもらいたい。キレイ事ばかりで自殺はなくなる。十人十色とある様に、様々な人間模様、環境の中で悩みの無い人がいないと思う。市の取組が、ほんとうにその情報を必要としている人に届いていないのだと思う。学生であれば、市と学校が協力して、子どもたち一人一人とアドバイザーが話せる環境を作るなど、難しいとは思いますが、効果はあるのかなと思う。
- 全て傾聴、寄り添い理解してもらえることで絶望感から解放されることもあると思う。
同じ苦しみを味わった人の言葉は自殺を考えている人の心に届く率は高いと思う
(苦しみの感じ方、度合いはそれぞれ違いますが…) 上から目線的な言葉は届かないと思う

テーマ担当課（保健予防課）からのコメント

自殺対策について、市民のみなさまの認知度や考えなどを伺い、より効果的と思われる施策を把握するためにアンケートを実施したところ、多くのご回答やご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

現在鹿児島市では、自殺者数の多い50～60歳代を取組の中心としておりますが、自殺対策を推進した方がよいと思う年代として、多くの方が10～20歳代をあげていることから、若年層の自殺対策への関心が高いことがわかりました。また、自殺対策の取組として効果的だと思うものとして、児童・生徒に対するSOSの出し方教育、自殺相談ダイヤルによる電話相談、自殺のサインに気づき、適切な対応を取れる人（ゲートキーパー）の養成に多くの関心を寄せていただいていることがわかりました。

さらに、自由意見などから、自殺対策について十分な普及啓発ができていないことがわかりました。現在設置を進めている無料相談窓口カードの効果的な設置箇所として、行政機関、医療機関、コンビニエンスストアなどを指摘していただきました。今後もより効果的な取組を目指し、様々な機会を捉え、普及啓発に努めてまいります。

今回の調査結果を生かし、誰も自殺に追い込まれることのない、いのち支える鹿児島市の実現に向け、市民の皆様へ寄り添い、力になることができるように、自殺対策の取組を進めてまいりたいと考えております。

★ご協力ありがとうございました！